

# 県民対話集会でいただいたご提案・ご要望

令和5年12月15日  
企画振興部、総務部

## 《 目 次 》

|                |       |    |
|----------------|-------|----|
| 1 少子化・子育て      | ..... | 1  |
| 2 移住促進         | ..... | 3  |
| 3 学び           | ..... | 3  |
| 4 交通           | ..... | 8  |
| 5 暮らしの維持       | ..... | 9  |
| 6 まちづくり、DX     | ..... | 10 |
| 7 インフラ整備、防災・減災 | ..... | 11 |
| 8 ゼロカーボン       | ..... | 12 |
| 9 医療、福祉        | ..... | 13 |
| 10 農業、農山村の維持   | ..... | 14 |
| 11 森林整備、林業     | ..... | 17 |
| 12 観光          | ..... | 18 |
| 13 産業振興        | ..... | 19 |
| 14 行政体制、コロナ対応  | ..... | 21 |

※ ご提案等のうち、各会場で県の対応等についてご説明させていただいたものは記載を割愛しています。また、ご発言内容を要約して記載しています。

# 県民対話集会でいただいたご提案・ご要望

## 1 少子化・子育て

(結婚、出産、経済的負担)

- 1 マッチングアプリにもっと気軽に登録できるようにしてほしい。(南相木村)
- 2 広域的な出会いの場づくりを進めてほしい。(平谷村)
- 3 身近に産科医や助産師を確保してほしい。(上田市、御代田町)
- 4 子育て支援政策は切れ目なく継続的にお願いしたい。(御代田町)
- 5 子育て費用の地域間格差を無くしてほしい。(小谷村)
- 6 医療費や保育料、給食費等を無償化してほしい。(上田市、茅野市、南牧村、軽井沢町)
- 7 大学進学への経済的負担を軽減(無償化)してほしい。(木島平村)
- 8 給付型の奨学金や返済支援を検討してほしい。(飯島町)

(保育)

- 9 多様な保育ニーズに応えてほしい(季節限定、一時預かり、未満児、病児・病後児、早朝・延長保育など)。(上田市、川上村、御代田町、平谷村、大桑村、生坂村)
- 10 未満児保育研修会への参加枠や小規模保育園の交流機会を確保してほしい。(御代田町)
- 11 県の独自基準など保育士の配置基準を充実させてほしい。(上田市、佐久市)
- 12 小規模自治体の保育士確保を支援してほしい。(南相木村、箕輪町)
- 13 保育士の待遇改善(給与、労働環境)が必要。(佐久市、箕輪町、喬木村)
- 14 保育士不足に対し、代替スタッフを活用してはどうか。(佐久市)

(働き方、意識啓発)

- 15 個人事業主である女性への出産手当や休業補償が必要。(中野市)
- 16 子育て女性の多様な働き方を支援してほしい(就業、起業、空き時間の活用、子どもを連れてなど)。(原村、泰阜村、喬木村、豊丘村、小谷村)

- 17 育児休業者の代替要員確保のための補助や、地域単位での人材登録制度等があれば企業も取り組みやすい。(岡谷市、東御市)
- 18 都会に比べ、暮らしや仕事の選択肢や出会いの機会が少なく、企業の福利厚生が不十分であることなどが課題。(宮田村)
- 19 自治会などで女性や子育て世代が活躍できる環境が必要。(小布施町)
- 20 女性や若者が希望をもてる村づくりを支援してほしい。(南相木村)
- 21 女性のウェルビーイングの実現には「女性活躍」にかわる新しい言葉を考えることが必要。(伊那市)
- 22 性別役割分担意識の改善や多様な価値観を受け入れる地域づくりが必要。(宮田村、木島平村)
- 23 男性が残業しなくてよい、休暇を取得しやすい環境を整備してほしい。(小谷村、坂城町)
- 24 育休給付金の早期支給や一時的に立て替える制度があればよい。(上田市)
- 25 父親の家事スキル向上支援、育児参加への県のリーダーシップをお願いしたい。(上田市、佐久市)

(子育て環境など)

- 26 里山での子育てインフラの整備を支援してほしい。(大町市)
- 27 子どもが地域で自由に遊んだり学ぶことができ、地域全体で子育てを支える環境が必要。(佐久市、宮田村)
- 28 保育や教育に特化したビジネス支援を検討してほしい。(南相木村)
- 29 子育て支援組織のネットワークをつくってほしい。(麻績村)
- 30 地元住民や支援者による共助を促す仕組みを整えてほしい。(御代田町)
- 31 子ども・子育てを支援する団体の人的・財政的な資源が不足している。(松本市、塩尻市)
- 32 子どもたちのリアルな体験機会を増やすことができればよいと思う。(松本市)
- 33 子育て情報は個人レベルの取組も併せて発信してほしい。(佐久市)
- 34 受入れ形態など里親の認定基準を緩和してほしい。(東御市)
- 35 発達障がい児の受入施設と診察体制を確保してほしい。(上田市)
- 36 緊急時には最寄りの児童相談所で対応してほしい。(南木曾町)

## 2 移住促進

- 37 地域社会の担い手となる移住者を増やす取組を強化してほしい。  
(南牧村、原村、栄村)
- 38 首都圏等で移住促進イベントや移住体験ツアーを開催してほしい。(売木村)
- 39 移住者の多様なニーズに応えられる住まいの確保が必要。  
(安曇野市、北相木村、長和町、宮田村、平谷村、朝日村、野沢温泉村)
- 40 移住者用に県営住宅の提供や住宅補助など行ってほしい。  
(売木村、南木曾町、木島平村)
- 41 場所や時間にとらわれずに仕事ができる人を呼び込んだ方がよい。(小川村、栄村)
- 42 移住促進には特色ある学びや保育の環境が有効。  
(下諏訪町、小谷村、山ノ内町、小川村)
- 43 中部圏から学生を引きつける取組をお願いしたい。(飯田市)
- 44 移住希望者それぞれの課題や思いに沿った相談対応が必要。(安曇野市)
- 45 移住した方へのフォローに対する支援をお願いしたい。(木島平村)

## 3 学び

(教育・学校のあり方、教員)

- 46 子ども主体の授業や非認知能力を伸ばす教育を進めてほしい。  
(駒ヶ根市、池田町)
- 47 地域外からも若者を呼べる特色のある学校づくりができないか。(豊丘村)
- 48 義務教育でも通信制や午後部など選択肢を増やせないか。(東御市)
- 49 長野県は小中高生の不登校が全国ワースト2位で、教育改革が必要。(高山村)
- 50 交流機会を確保するため教育行政の広域化を進めてほしい。(麻績村)
- 51 化学物質や電磁波に敏感な方への対策を講じてほしい。(小川村)
- 52 子どもの学びに集中できるよう県独自の教員負担軽減策が必要。(須坂市、木島平村)
- 53 子育て中の教員にとって、家庭と仕事の両立が困難。(安曇野市)

54 教員志望者への奨学金支給や返済免除制度の創設、処遇改善による優秀な人材の確保が必要。(南箕輪村、阿南町、麻績村)

55 教員が社会経験を積む機会の充実が必要。(松本市)

(学びの充実)

56 小人数教育を進めてほしい。(東御市)

57 どの地域でも十分な学びの機会を得られる公教育が必要。(北相木村)

58 リモート授業など通学の負担が軽減される環境整備をお願いしたい。  
(川上村、南木曾町)

59 学びの環境変化に即した教職員の配置をお願いしたい。(大桑村)

60 発達障がいの子が通常学級で学べるような教員配置や人材育成を行ってほしい。  
(東御市、麻績村)

61 子どもの心のケアができるよう教員数を増やしてほしい。(下條村)

62 総合型選抜など多様化する大学入試への対策が必要。(飯島町)

63 小学校から英語教育を行ってはどうか。(南木曾町)

64 学校・大学と地域との交流や地元企業との連携強化が必要。  
(松本市、須坂市、伊那市、小海町、南箕輪村、天龍村)

65 地域での多様な学びの場づくりが重要。(長野市、塩尻市、坂城町)

66 大学生・高校生の主体的な活動をサポートしてほしい。(松本市、喬木村)

67 ふるさと教育の充実が必要。(宮田村、天龍村、栄村)

68 恵まれた自然環境を学校教育での体験活動等に利活用することが必要。  
(佐久穂町)

69 小・中・高校での職業体験を充実させてほしい。  
(塩尻市、立科町、阿智村、山形村、信濃町)

70 政治に関心を持てるような教育により投票率向上等が期待できる。(中野市)

71 中学校と高校の連携を強化して欲しい。(白馬村)

72 教員の交流など中山間地の小・中・高校の連携を強化してほしい。  
(阿南町、南木曾町)

- 73 山村留学の担当者には熱を持った職員を長く在籍させてほしい。(泰阜村)
- 74 自然教育が広がるような学童保育の仕組みを作ってほしい。(泰阜村)
- 75 信州大学の国際教育の充実を国に強く求めてほしい。(高森町)
- 76 社会の学びと学校での学びの連携が重要。(中野市)

(小規模校での学び)

- 77 特色ある教育に向けた人材の育成・確保、先進地との連携を支援してほしい。  
(小川村)
- 78 小規模校のブランド化、魅力発信を支援してほしい。(平谷村、栄村)
- 79 小規模校での質の高い教育を確保する教員配置が必要。(平谷村、王滝村)
- 80 複式学級の解消、県の独自基準の維持をお願いしたい。(長和町、売木村)
- 81 中山間地域校での他校との交流や校外とのつながりを充実すべき。  
(泰阜村、小川村)
- 82 小規模校での部活動の選択肢を増やしてほしい。(小川村)

(高校再編、高校の魅力化)

- 83 佐久新校の用地として駒場公園南の県有地を活用してほしい。(南相木村)
- 84 伊那新校について、地元と十分な意思疎通を図りながら適正な規模や機能となるよう検討してほしい。(伊那市)
- 85 上伊那地域の南、北に技術新校を1校ずつ設置してほしい。(駒ヶ根市、箕輪町)
- 86 安曇野の高校に農業で生計を立てられるプログラムを盛り込んでほしい。  
(安曇野市)
- 87 高校再編により再編前の各校での教育が継続できるか心配。(中野市)
- 88 高校再編や教員配置での型にはめない対応をお願いしたい。(須坂市)
- 89 再編校の跡地について、不登校児童や大人の学びの場など有効活用してほしい。  
(須坂市、伊那市)
- 90 教育的意義や地域づくりに軸足を置いた高校の魅力化に取り組んでほしい。  
(泰阜村)

- 91 フリースクールの高校版など学びの選択肢の多様化を県立高校でも検討してほしい。  
(阿智村)
- 92 高校再編の基準「生徒数160人」を見直してほしい。(白馬村)
- 93 東信地域の実業高校に林業を学べる学科を設置してほしい。(北相木村)
- 94 下高井農林高校で社会人の受入れや農業専門学校的な取組ができないか。  
(木島平村)
- 95 蓼科高校を守ってほしい。(立科町)
- 96 軽井沢高校の体育館や校庭等の整備が必要で、校舎の雨漏りの懸念もある。  
(軽井沢町)
- 97 入学者数の減少による小海高校の廃校が心配。(小海町)
- 98 蘇南高校にも観光科を設置してほしい。(南木曾町)
- 99 白馬高校の存続を多方面から支援してほしい。(白馬村)

(大学等の誘致)

- 100 美術系学部などサテライトカレッジを誘致してほしい。(飯綱町)
- 101 都市部ではなく地域への大学等の立地を促してほしい。(栄村)
- 102 飯田地域に大学を誘致してほしい。(飯田市、泰阜村、豊丘村)

(特別支援教育、インクルーシブ教育)

- 103 30人規模学級を維持しながらインクルーシブ教育を実施すべき。(池田町)
- 104 中間教室の設置や特別支援学校の受入枠の確保が必要。(白馬村)
- 105 インクルーシブ教育を担う人材の育成・確保が必要。(東御市、栄村)
- 106 発達障がいに対応する教員の専門性向上が必要。(東御市、大桑村)
- 107 上田養護学校の校舎改修や周辺道路の整備が必要。(東御市)
- 108 副学籍制度を進める際、親へのサポートをお願いしたい。(東御市)

(学校以外の学びの場)

- 109 フリースクールなど学校に行けない子の受け皿の充実を支援してほしい。  
(須坂市、伊那市、中野市、下條村、信濃町)
- 110 障がいのある子や不登校の子に対する全県統一のサービスを提供してほしい。  
(川上村、小谷村)
- 111 不登校支援の広域対応、自治体間連携を促してほしい。(平谷村、生坂村)
- 112 「不登校」「不適応」などの否定的な表現を改めてほしい。(東御市)
- 113 子どもの居場所づくりなどに取り組む支援者の横のつながりが少ない。(小布施町)
- 114 分教室型の不登校特例校を多く設置することが重要。(平谷村)
- 115 フリースクール等への参加が学校への出席扱いとなるようにしてほしい。(上田市)

(部活動、スポーツ、芸術文化)

- 116 部活動の地域移行には、受け皿づくりや指導者確保、財政的支援が必要。  
(中野市、木島平村)
- 117 部活動の地域移行に関し、子どもにも話を聞いてほしい。(高森町)
- 118 指導者の人材バンクの設立を検討すべき。(大桑村)
- 119 引退したアスリートを誘致し企業での雇用と部活動の指導にあたってもらえばいい。  
(箕輪町)
- 120 指導者の報酬について柔軟な制度に改めてほしい。(泰阜村)
- 121 中山間地域等での部活動は、複数の学校や市町村を超えた連携が必要。  
(泰阜村、大桑村)
- 122 観光部に移管するスポーツ部門の人員確保をお願いしたい。(中川村)
- 123 白馬高校スキー部への支援やスキーを長く続けられる環境づくりに協力してほしい。  
(白馬村)
- 124 国民スポーツ大会等の開催を契機とした、各種大会の開催や施設改修に協力して  
ほしい。(筑北村)
- 125 文化会館の出張イベントなどを充実してほしい。(松川村)
- 126 文化財や史跡名勝に継続的に訪れてもらえる仕組みを作してほしい。(千曲市)
- 127 森将軍塚古墳館のPRと県立歴史館との連携の継続をお願いしたい。(千曲市)

(給食、PTAなど)

- 128 有機給食の普及や推進する仕組みづくりを支援してほしい。  
(千曲市、松川町、大桑村、小谷村)
- 129 学校栄養士の異動サイクルを長くしてほしい。(松川町)
- 130 給食用の地元食材の中間加工施設に補助してほしい。(松川町)
- 131 有機食材による食育を進めてほしい。(池田町)
- 132 時代に合ったPTA活動のモデルケースを発信してほしい。(松川村、坂城町)
- 133 授業でしか使わないリコーダーなどの購入を支援してほしい。(御代田町)

## 4 交通

(維持、広域交通、次世代モビリティ、空港など)

- 134 高齢化が進む運転手や理系職の確保、設備の維持等が課題。(小諸市、上松町)
- 135 大系線の存続に向け上下分離の検討、また、JR各社の連携などを強く求めてほしい。  
(池田町)
- 136 デマンド交通に関する規制緩和を国に求めてほしい。(小諸市)
- 137 行政の公用車を住民のシェアリング用に貸与してほしい。(上松町)
- 138 市町村のエリアを超えた広域的な公共交通を確保してほしい。  
(青木村、平谷村、木島平村)
- 139 デマンド交通は市町村エリアを超えた広域で運用すべき。(小諸市、上松町)
- 140 リニア開業を見据え関係県との連携を進めてほしい。(上松町)
- 141 自動運転や空モビリティの導入を含め、リニア駅へのアクセス向上を図ってほしい。  
(駒ヶ根市、富士見町、売木村、大桑村)
- 142 松本空港の国際化に向けた具体的な取組をお願いしたい。(大町市)

(通学、観光客の移動)

- 143 高校生が無理なく通学できる交通手段を確保してほしい。  
(小諸市、南牧村、上松町、大桑村、木島平村)

- 144 白馬・長野駅間の直通バスが小川村内に停まるようバス会社に求めてほしい。  
(小川村)
- 145 JR大糸線松本駅発の列車の安曇野市内での折り返し運転を減らしてほしい。  
(松川村)
- 146 軽井沢高校前駅を設置してほしい。(軽井沢町)
- 147 地元から都市部への通学費用を支援してはどうか。(飯島町)
- 148 観光振興には二次交通の充実が不可欠。(長野市、立科町、阿智村)
- 149 観光客には公共交通利用の分かりやすいアナウンスや多言語表記が必要。(上松町)
- (利用促進、バリアフリー)
- 150 地域連携ICカードの普及を進めてほしい。(小諸市)
- 151 公共交通のデジタル化は民間と連携して進めてほしい。(小諸市)
- 152 パークアンドライドの普及により電車利用を促すことも重要。(小諸市)
- 153 公務員の出張も公共交通機関を利用すべき。(小諸市)
- 154 交通のバリアフリー化を進めてほしい。(上松町)

## 5 暮らしの維持

- 155 継続的な買い物弱者対策の旗振り役を担ってほしい。(阿南町)
- 156 ガソリンスタンドの存続のための支援をお願いしたい。(青木村)
- 157 ガソリン価格が日本一高い状況への対応が必要。(阿智村、売木村、池田町)
- 158 車での出勤時の「5分10分前出発」を主導してほしい。(小谷村)
- 159 自転車の安全教育が必要。(飯山市)
- 160 行方不明者の捜索にも使える赤外線サーモ機能付きのドローンを広域単位で購入してはどうか。(池田町)
- 161 地域コミュニティを担う活動を応援するコミュニティ休業制度などを創設すればよい。  
(喬木村)

- 162 新規ビジネスへの支援や職場環境の改善など、地域での人材確保を支援してほしい。  
(栄村)
- 163 若者の地域活動を人材確保や金銭面で支援してほしい。(高森町)
- 164 特定地域づくり事業協同組合間で、職員を派遣し合える仕組みが必要。(生坂村)
- 165 空き家活用が進む税制や誘導策、マッチングの仕組みなど検討してほしい。  
(長和町、木祖村、栄村)
- 166 個々の空き家に応じてコーディネートできる人材や相談できる場所が必要。  
(長野市、辰野町)
- 167 南佐久をウェルビーイングのモデル地域にしてほしい。(小海町)

## 6 まちづくり、DX

(リニア開通等を見据えた取組)

- 168 (リニア開通に向け)民間も巻き込みながら南信州のエリアブランディングに力を入れてほしい。(根羽村)
- 169 スポーツ施設や芸術的な施設等を誘致してほしい。(豊丘村)
- 170 留学生などを誘導してはどうか。(飯田市)
- 171 JR東海に要望しているリニア博物館の設置を後押ししてほしい。(豊丘村)
- 172 リニア工事の跡地を有効活用してほしい。(豊丘村)
- 173 リニア開業による大都市への人口流出の抑制に協力してほしい。(飯田市、阿智村)

(DX推進)

- 174 空飛ぶクルマや自動運転、ロボットなどの実証実験のフィールドにしてほしい。  
(小海町、立科町、上松町)
- 175 デジタルデバイスの有効活用により身近な行政手続からデジタル化を進めることが必要。(栄村)

(国際交流、景観など)

- 176 帰国した青年海外協力隊員の地元企業への就職をサポートしてほしい。(駒ヶ根市)
- 177 三遠南信地域の連携強化を知事レベルで後押ししてほしい。(阿智村)

- 178 景観整備の全体像をどうデザインするか考えてほしい。(長和町)
- 179 里山の景観等を維持するための独自補助などできないか。(豊丘村、大鹿村)
- 180 海外の先進事例も参考に市民参加型のまちづくりに取り組んではどうか。(長野市)

## 7 インフラ整備、防災・減災

(道路の整備・維持)

- 181 中部横断自動車道や松本系魚川連絡道路などの整備を進めてほしい。  
(大町市、川上村、南相木村、佐久穂町、売木村)
- 182 松本系魚川連絡道路に関する住民説明を改善してほしい。(大町市、池田町)
- 183 景観への配慮から松本系魚川連絡道路の盛土構造を再考してほしい。(大町市)
- 184 松本系魚川連絡道路の現道活用区間の安全確保をお願いしたい。(大町市)
- 185 県管理道路のバイパスやトンネルの整備、改良工事、歩道の設置等を速やかに  
お願いしたい。(東御市、川上村、南相木村、軽井沢町、立科町、青木村、売木村、  
喬木村、上松町、南木曾町、木祖村、飯綱町、栄村)
- 186 歩行者優先の道づくりを進めてほしい。(大町市)
- 187 白馬長野有料道路の無料開放を繰上げ実施してほしい。(大町市)
- 188 堤防管理道路の活用等によりサイクリングロードを整備してほしい。  
(飯山市、佐久穂町)
- 189 県管理道路の維持修繕を適切に行ってほしい。(軽井沢町、長和町、小谷村)

(河川整備、砂防など)

- 190 浚渫や支障木撤去など河川管理を適切に行ってほしい。  
(川上村、長和町、下諏訪町)
- 191 地元の方の河川監視への参加や河川に親しんだり河川管理に参加しやすくなるよう  
な護岸改修等を検討してほしい。(諏訪市、長和町)
- 192 魚の生息環境を改善する河川整備の方法や連携体制を検討すべき。(佐久穂町)
- 193 関係者と連携を図りながら諏訪湖の環境改善を進めてほしい。(諏訪市)
- 194 クリーンレイク諏訪の処理水の水質や温度を改善してほしい。(諏訪市)

- 195 諏訪湖の湖面の観光面での活用にも注力してほしい。(諏訪市)
- 196 地形に合った土砂災害対策を行ってほしい。(長和町、小川村)
- 197 土砂災害の危険に関する地質調査、情報提供を行う専門部署の設置をお願いしたい。  
(高森町)
- 198 砂防ダムへのアクセス道路の整備とツアーへのサポートをお願いしたい。(小谷村)
- 199 資材単価の上昇が設計単価に速やかに反映される仕組みにしてほしい。(長和町)
- 200 建設業の人材確保を応援してほしい。(川上村)

(消防団など)

- 201 消防団員の確保が課題。(軽井沢町、小川村)
- 202 県の消防団応援のための事業に協力している事業者側にも減税などのインセンティブ  
を検討してほしい。(阿南町)
- 203 防災訓練や避難訓練の方法について誘導策が必要。(小布施町)

## 8 ゼロカーボン

(エネルギー自立、意識啓発)

- 204 長野県はエネルギー面で自立してほしい。(生坂村)
- 205 市町村ごとゼロカーボンに向けた取組に温度差があるため、一定のレベルにしてほしい。  
(阿智村)
- 206 創エネポテンシャルの高い地域と連携した産業界のエネルギー自立を主導してほしい。  
(箕輪町)
- 207 早期のプラットフォーム化等により、環境意識の醸成と脱炭素に資する生活スタイルの  
発信をしてほしい。(北相木村、生坂村)
- 208 森林環境を生かしたアウトドアフィールドで体験をしながらゼロカーボン教育を行う場所  
を作れないか。(小川村)
- 209 小学校低学年の授業でもゼロカーボンの学習を採り入れてはどうか。(箕輪町)
- 210 「長野県は宇宙県」の取組を支援してほしい。(大鹿村)

(太陽光・小水力発電など)

- 211 ソーラー発電設備の増加が山岳景観、里山の雰囲気損なう懸念がある。(大町市)
- 212 太陽光発電に取り組むための初期費用が課題。(南相木村)
- 213 小水力発電の調査・施設整備への支援や温泉を活用したバイナリー発電導入に向けた県・町・事業者の協働が必要。(中川村、山ノ内町)
- 214 観光地での「レスプラスチック」の取組を発信してほしい。(白馬村)

## 9 医療、福祉

(医療体制など)

- 215 オンライン診療を含めた受診環境の向上と医師確保が必要。  
(阿南町、売木村、南木曾町)
- 216 木曾病院の存続と医師配置の充実をお願いしたい。(大桑村)
- 217 県境を越えた通院がスムーズにできるようにしてほしい。(南木曾町)
- 218 メディカルバレー構想実現に向け持続的に取り組めるようお願いしたい。(阿智村)
- 219 不妊や流産、子育てなどの相談窓口やセーフティネットが身近にあるべき。  
(上田市、茅野市)
- 220 赤ちゃんポストが設置されるよう取り組んでほしい。(東御市)
- 221 献血、骨髄や臓器提供への協力者を増やす上で若い方等への周知が課題。(松川村)

(福祉、健康長寿)

- 222 小規模な福祉施設でも運営が可能となる方策を検討してほしい。(長和町)
- 223 地域共生社会推進のための包括的な取組に対する支援策など検討してほしい。  
(長和町)
- 224 高齢者の生活面の不安解消には生活支援コーディネーターのような存在が必要。  
(天龍村)
- 225 介護の担い手確保を支援してほしい。(阿南町、天龍村、喬木村)
- 226 民生児童委員のなり手の確保が必要で2期以上の継続が理想。(阿南町)
- 227 医療的ケア児の福祉施設での受入れに必要な人材の育成・確保、医療機関との連携が必要。(長和町)

- 228 障がい児、医療的ケア児の親に対するサポート体制を充実させてほしい。(松川村)
- 229 健康長寿と生き甲斐をテーマとした沖縄県との連携交流を進めることを提案。(天龍村)
- 230 高齢者の就労や活動に着目して健康長寿を支援してほしい。(阿智村)
- 231 全国でダントツに野菜を摂取する県にしてほしい。(朝日村)
- 232 若者の自殺対策に積極的に取り組んでほしい。(塩尻市)
- 233 8050問題が大きな問題。(駒ヶ根市)

## 10 農業、農山村の維持

(営農継続、農山村の維持)

- 234 中山間地域での除草作業等の負担軽減への支援をお願いしたい。(下條村、大鹿村)
- 235 小規模な自給的農業が持続されるよう人や施設面での支援をお願いしたい。(飯綱町)
- 236 かつての生活改善普及員のような暮らしの課題解決を指導する人材の育成が必要。  
(飯綱町)
- 237 水田活用直接支払交付金の要件厳格化に伴う代替支援策を講じてほしい。  
(富士見町、原村)
- 238 農家及び関連事業者に対する飼肥料等の物価高騰対策を早急に講じてほしい。  
(南牧村、原村、辰野町、生坂村)
- 239 農畜産物が適正価格で取り引きされるよう支援してほしい。(川上村、原村、朝日村)
- 240 地権者不明農地について、利用者の権利を認める制度化を国に求めてほしい。  
(長和町)
- 241 中山間地域で営農を継続できない農地の有効活用や遊休農地の再生を支援して  
ほしい。(下條村、天龍村、生坂村、山形村)
- 242 農業経営の第三者継承を促進すべき。(川上村)

(担い手の育成・確保)

- 243 親元就農や中高年を含め、新規就農者に対しハード・ソフト両面で支援してほしい。  
(川上村、原村、豊丘村、山形村)
- 244 新規就農を支援する制度の要件緩和を国に求めてほしい。(下條村)

- 245 移住支援や農業大学校での養成等により新規就農を促進してほしい。(立科町、原村)
- 246 短時間勤務やリモートワーク等による新しい兼業農家の形ができないか。(麻績村)
- 247 離農者と就農希望者とのマッチングを支援してほしい。(山形村、朝日村)
- 248 副業人材の活用により農作業や除草作業を支援してほしい。(下條村、麻績村)
- 249 負担の少ない雇用就農を促進してはどうか。(南箕輪村、阿智村)
- 250 県農業担い手育成基金の求人フェアを南信でも実施してほしい。(阿智村)
- 251 新規就農里親制度の里親要件の緩和を提案する。(茅野市)
- 252 人・農地プランの策定や実質化を支援してほしい。(原村)
- 253 特定技能外国人材の年金加入や税負担のあり方など課題がある。(川上村、原村)
- (野生鳥獣被害対策)
- 254 野生鳥獣被害を防ぐ抜本的な対策をお願いしたい。(下條村、筑北村、山ノ内町)
- 255 有害鳥獣駆除の担い手を確保してほしい。(川上村、大鹿村、王滝村)
- 256 県境を越えたサルやシカの被害防止対策を機動的に行える体制を構築してほしい。  
(南牧村、原村)
- 257 ツキノワグマをシカや猪と同様に駆除できるようにすべき。(大鹿村、山ノ内町)
- 258 錯誤捕獲したクマに対する緊急捕獲許可を制度化してほしい。(山ノ内町)
- (生産性向上、販路拡大)
- 259 スマート農業導入に対する支援をお願いしたい。(原村)
- 260 食料自給率向上に資する増産を支援してほしい。(千曲市、南牧村、麻績村、生坂村)
- 261 高齢農家が通信販売できる仕組みを構築してほしい。(大鹿村)
- 262 農産物の販路拡大には地域(南信州)のブランディングと県外への発信が必要。  
(根羽村)
- 263 村特産の長芋の成分分析や販路拡大を支援してほしい。(山形村)

264 野菜の付加価値を高める認定基準等を設けられないか。(南牧村)

265 GI制度の認知度向上、PRへの支援をお願いしたい。(木曾町)

(新品種開発、特産品・伝統野菜の継承)

266 特産品等の品種改良や新品種開発を進めてほしい。(麻績村、生坂村)

267 気候変動への耐性や栽培しやすさのみならず味を考慮した品種改良に転換してほしい。(山形村)

268 ワイン用ぶどうの苗木の安定供給体制を構築してほしい。(麻績村)

269 水産試験場には在来品種の安定供給への普及指導もお願いしたい。(佐久穂町)

270 豚熱の再発防止の観点から畜産試験場の機能分散を図るべき。(辰野町)

271 持続可能な農業にしていく観点で特産品づくりを主導してほしい。(佐久穂町)

272 生産継続が困難となったあんず畑の担い手確保を地域で考えていくべき。(千曲市)

273 伝統野菜の伝承、普及が進むよう支援してほしい。(天龍村、信濃町)

274 薬草の栽培農家や活用企業、関係団体、行政の連携体制を構築し、ブランド化に取り組めないか。(王滝村、信濃町)

275 特産品や多様な農産物の原種を保存してほしい。(山形村、小布施町)

(環境保全型農業、有機農業、温暖化対策)

276 環境保全型農業と経営継続との両立をサポートしてほしい。(池田町)

277 信州の環境にやさしい農産物認証制度の浸透と加工品への対象拡大をお願いしたい。(麻績村)

278 環境に配慮した畜産物の商品開発、ブランド化による販売促進を図れないか。(箕輪町)

279 長芋の残渣など産業廃棄物の処理について考えてほしい。(山形村)

280 諏訪湖の水質改善につながるようエコファーマー制度を周知してほしい。(諏訪市)

281 風食被害防止への支援策の拡大と正確な情報発信をお願いしたい。(朝日村)

- 282 有機肥料の導入コストを支援してほしい。(川上村)
- 283 有機農法への転換による減収額の補償はできないか。(松川町)
- 284 小規模流通に適応しにくい有機JAS認証に替わる地域認証(南信州)などが必要。  
(松川町)
- 285 農家と給食調理場をつなぐ地消地産コーディネーターを採用してほしい。(松川町)
- 286 グリーン購入法の考え方を条例化してはどうか。(松川町)
- 287 地球温暖化や異常気象による影響の緩和、栽培品目の転換などを支援してほしい。  
(立科町、原村、喬木村、朝日村)
- 288 異常気象による農業用水路等の大規模損傷に対応可能な補助金等を検討してほしい。  
(原村)

(観光との連携)

- 289 農業と観光の連携強化に取り組んでほしい。(阿智村、天龍村、木曾町、信濃町)
- 290 信州そばのブランド力向上やインバウンド客の消費拡大に取り組むべき。(筑北村)

## 11 森林整備、林業

(森林整備)

- 291 人工林の管理を率先して指導してほしい。(小川村)
- 292 森林計画図の精度向上に公的機関も関わってほしい。(木曾町)
- 293 森林づくり県民税により自然林(広葉樹)の整備も進め、人工林の切捨間伐はやめてほしい。(小川村)
- 294 針広混交林への転換を主導してほしい。(山形村)
- 295 防災上及び景観上の観点から不要な木々の伐採、倒木の撤去を進めてほしい。  
(王滝村、小谷村、高山村)
- 296 植樹から伐採、活用までのシステムづくりをお願いしたい。(高山村)
- 297 里山整備の際、観光の視点で広範囲に整備してほしい。(大鹿村)
- 298 阿智村、平谷村、根羽村の連携によるフォレストパークづくりに協力してほしい。  
(阿智村)

299 イヌワシ等の餌場を確保する観点からも森林の適正な維持管理を進めてほしい。  
(高山村)

(林業振興、県産材利用促進)

300 林業事業者の経営安定化、事業の採算性の確保が必要。  
(千曲市、小海町、木曾町、高山村)

301 木曾地域が一体となり木曾町や上松町に林業拠点を整備してほしい。(王滝村)

302 林業の魅力を高め、担い手を育成・確保することが課題。(塩尻市、木曾町)

303 林業大学校卒業生の県内林業関係会社への就職が少ないことが課題。(王滝村)

304 県産材の魅力を県内外にPRするなど、利用拡大を図るべき。(王滝村)

305 良質なカラマツを建築用材として民間施設にも活用してほしい。(小海町)

306 ペレット工場の増設や県の試験研究機関の連携による高性能なペレットボイラーの  
開発に取り組んでほしい。(松川村)

307 木の糸コンソーシアムの取組を産業と捉え、セルロース製造など支援してほしい。  
(根羽村)

308 松くい虫被害対策として、被害木の有効活用等を進めてほしい。(筑北村)

## 12 観光

(誘客促進)

309 北陸新幹線延伸などを契機としたさらなる誘客への支援をお願いしたい。(大町市)

310 学習旅行の誘致への支援をお願いしたい。(長野市、大町市)

311 ワインツーリズムの普及拡大を支援してほしい。(千曲市、立科町)

312 水上アクティビティが実施できるよう余地ダムの湖面開放をお願いしたい。(佐久穂町)

313 サイクルツーリズムを主導してほしい。(野沢温泉村)

314 サイクルステーションに携わる人の役割拡大が課題。(飯山市)

315 道路の路側帯や矢羽根を継続的に整備してほしい。(飯山市)

316 自転車をコンテンツにしたインバウンドの促進等を支援してほしい。(飯山市)

317 観光列車と自転車のコラボレーション企画を検討してほしい。(飯山市)

318 農業体験の機会を海外の大学生に提供することは価値がある。(信濃町)

(受入環境等)

319 旅行者に優しい観光地に向けたインフラ整備を支援してほしい。(長野市)

320 観光地の飲食店等がもう少し遅い時間まで営業した方が誘客につながる。(長野市)

321 広域観光を進めるソフト・ハード両面での市町村連携の仕組みが必要。  
(大町市、軽井沢町)

322 県下全域でインバウンドの促進に取り組んでほしい。(千曲市、中川村、阿智村)

323 スキー場の今後のあり方を検討してほしい。(長和町、野沢温泉村)

324 老朽化したリフトの更新などを支援してほしい。(白馬村、野沢温泉村)

325 観光業・飲食業では慢性的な人材不足が課題。(山ノ内町、野沢温泉村)

326 先行府県等の課題も踏まえ、安定的な財源として観光目的税など検討いただきたい。  
(野沢温泉村)

327 観光財源については直接観光地へ戻す仕組みにしてほしい。(野沢温泉村)

328 県版の「観光特区」設定等により、集中的な予算と人材を投入して諸課題の解決策を検証してはどうか。(野沢温泉村)

## 13 産業振興

(創業、事業継承、小規模事業者支援)

329 世界に通用するスタートアップが生まれる支援策を考えてほしい。(松本市)

330 社会課題解決に取り組むスタートアップへの支援を充実してほしい。(駒ヶ根市、飯綱町)

331 起業に対する支援制度を活用しやすくしてほしい。(下條村)

332 事業継承に対するきめ細かな支援をお願いしたい。  
(北相木村、阿南町、南木曾町、筑北村)

333 商工会に対する補助金は会員数に連動するのではなく、小規模団体に手厚い仕組みにしてほしい。(阿南町)

334 商工・観光業のイベントでの情報発信等をサポートしてほしい。(南牧村)

(産業誘致、地域内経済循環)

335 サテライトオフィスや支社を地方に置く意向の企業を誘致してほしい。(木島平村)

336 企業と連携し関係人口を受け入れる上での課題は、Wi-Fi環境やタクシー等の移動手段の不足など。(小海町)

337 食料やエネルギーの自給状況を市町村ごと比較できる仕組みがあればよい。(小海町)

338 地域通貨のシステム構築や環境整備への支援、モデル地区としてのバックアップをお願いしたい。(中川村、野沢温泉村)

(就業、人材)

339 第2新卒向けの就職支援を行ってみてはどうか。(宮田村)

340 中小企業の賃金を底上げできる仕組みをつくってほしい。(高山村)

341 社会人の学び直し、ものづくり企業のリカレント教育を全県で進めてほしい。(岡谷市)

342 将来を担う人材の育成に関する施策を分野横断的に進めてほしい。(塩尻市)

343 奨学金返還支援制度は人材を確保する上でも安心して働くためにも必要。(坂城町)

(ものづくり産業)

344 営業力の強化、金融という目線も入った企業ネットワークが必要。(岡谷市)

345 起業家や若手技術者、経営層が気軽に情報交換できるサイエンスカフェのような場があるとよい。(岡谷市)

346 工業技術総合センターの人材・予算面の充実をお願いしたい。(岡谷市)

347 地域食材を使った商品開発とそれに関わる人材育成、観光との接続をお願いしたい。(飯綱町)

348 食品加工や加工場の開設に必要な規制が厳格かつ細分化されており制約となっている。(木曾町、飯綱町)

349 小規模ワイナリーの機器整備などへの支援をお願いしたい。(千曲市)

350 ワインバレー構想への八ヶ岳西麓エリアの追加指定と諏訪地域独自のワイン用ぶどう栽培技術マニュアルの作成をお願いしたい。(原村)

351 ワイン用ぶどうが果樹経営支援対策事業の対象となるようお願いしたい。(原村)

(物産振興、ブランド戦略)

352 銀座NAGANOのスペースを拡張してほしい。(長野市)

353 名古屋のアンテナショップを復活させてほしい。(木曾町)

354 ブランド力を活かすため東京大学先端科学技術研究センターとの連携を考えることが必要。(木曾町)

355 信濃町のキャラクター「ほちゃ」をゆるキャラが参加する場に呼んでほしい。(信濃町)

## 14 行政体制、コロナ対応

356 県民参加型予算のプロセスの改善や取組の拡大をお願いしたい。(根羽村、小布施町)

357 県に担当部署を置き市町村と連携して地域の取組を支援する体制をとってほしい。(大町市)

358 市町村担当者の負担軽減に配慮した照会や各機関連携した情報提供に努めてほしい。(根羽村、大桑村)

359 オンラインや電話でのリアルタイムな意思疎通に努めてほしい。(阿智村)

360 役場職員が兼業・副業で地域貢献できる体制づくりをサポートしてほしい。(根羽村)

361 コロナの5類移行を要望するとともに、県民の不安払拭をお願いしたい。(白馬村)

362 スキー関係の全国旅行支援の継続を求めてほしい。(山ノ内町)

363 宿泊業の営業状況も踏まえ「信州の安心なお店」の条件を見直してほしい。(大町市)